

平成26年11月20日

会 議 概 要

審議会等の名称		平成26年度第2回市川市社会教育委員会議	
開催日時		平成26年11月20日（木）午後2時30分～午後4時30分	
開催場所		市川教育会館 多目的室	
出席者	委員	滝沢直樹委員長、横田恒幸副委員長、本城学委員、丸山賢治委員、清水輝和委員、ハリス貴子委員、緒方紀子委員、天野敏男委員、寺内理絵子委員、原由美委員、田中幸太郎委員、成田久江委員、千坂行雄委員、野澤順治委員	
	所管課	生涯学習部 生涯学習振興課	
	関係課	青少年育成課、社会教育課、自然学習課、中央図書館、考古博物館	
議題及び会議の概要		公開・非公開の別	非公開の場合の理由
第四次生涯学習推進計画について（議事）		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
市川市図書館運営基本計画（素案）について（議事）		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
傍聴者の人数	0 人		
閲覧・交付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第四次生涯学習推進計画 策定の趣旨、今後の予定等 ・市川市図書館運営基本計画（素案）概要版 		
特記事項			
所管課	生涯学習部 生涯学習振興課（内線：4316）		

平成 26 年度 第 2 回社会教育委員会議録

11 月 20 日（木） 14:30～16:30

市川教育会館 3F 多目的ホール

■出席者

社会教育委員 滝沢 直樹 委員長、横田 恒幸 副委員長、本条 学、丸山 賢治
 清水 輝和、ハリス 貴子、緒方 紀子、天野 敏夫、寺内 理絵子
 原 由美、田中 幸太郎、成田 久江、千坂 行雄、野澤 順治（14名）

教育委員会 田中 教育長（1名）

生涯学習部 萩原 部長、千葉 次長、牛尾 生涯学習振興課長、小畔 青少年育成課長
 川野 社会教育課長、川元 自然学習課長、堀切 考古博物館長
 松本 中央図書館長 事務局：高梨、室岡、田部井、齋藤、藤原（13名）

■会議録

発言者	内 容
田中教育長 萩原部長	辞令交付式 ・辞令交付 および 挨拶 ・挨拶 および 平成 26 年度 生涯学習部職員紹介
滝沢委員長 横田副委員長	委員長・副委員長選出 ・新委員長挨拶 ・新副委員長挨拶
滝沢委員長 生涯学習振興課長 事務局 滝沢委員長	市川市社会教育委員設置条例に基づく会議成立の確認 ※辞令交付の後 2 名退席したため 12 名が出席 各委員の自己紹介 議事 1 「第四次 市川市生涯学習推進計画」について ・計画策定の趣旨、策定作業スケジュール、主な改善点等について ※別紙参照 ・訂正を要する部分について ※別紙参照 「コミュニティサポート事業における成果指標（学校支援コーディネーターが派遣したボランティアの数）では、25 年度実績 280 人のとこ

生涯学習振興課長	<p>ろ 30 年度目標 840 人と大幅に増えているが実現は可能か。」</p> <p>「25 年度は学校支援コーディネーター委嘱の 1 年目であり、市内 20 校に限定された取り組みとなった。2 年目の今年は 30 校に配置されており、配置校が増えることで実績は大幅に増えることが予想される。」</p>
ハリス委員	<p>「自分もコーディネーターをしており、学校から依頼を受けて、地域の方に学校支援ボランティアをお願いしている。コーディネーターが配置されれば、学校で活動するボランティアの人数は増えてくるはず。」</p>
滝沢委員長 事務局	<p>「全校に配置する計画か？」</p> <p>「学校長がコーディネーターに相応しい人材を推薦し、教育委員会がその方に委嘱するシステム。なるべく多くの学校に配置する方針ではあるが、基本的にはボランティアであり、意欲のある方が見つからない状況での配置は困難。」</p>
横田副委員長 事務局	<p>「学校によっては配置しなくてもいいのか？」</p> <p>「コーディネーターの連携を推進し、未配置校からもニーズがあれば対応可能な体制づくりにも取り組む。」</p>
生涯学習振興課長	<p>「教育委員会でも重点施策として捉えており、全校への配置ができるよう今後も働きかけていく。」</p>
滝沢委員長	<p>「目標達成に向け、どう取り組んでいくのかということを確認にしていくことが重要だ。」</p>
清水委員	<p>「充て職のような形で人を配置してしまうと目標が達成できない危険性もある。」</p>
丸山委員	<p>「私の学校でも今年からコーディネーターを配置している。良い取組であり、今後は校長会等でも積極的に紹介していきたい。」</p>
中央図書館長	<p>議事 2 「市川市図書館運営基本計画」について</p> <p>※別紙参照</p>
滝沢委員長	<p>「現状維持という印象。数値的な評価も入れながらも形成的な評価をしているが、俯瞰的であり何が問題なのかが分かりにくい。」</p>
横田副委員長	<p>「9,000 冊の選書はどのような方法で行われるのか。また、学校の予算で買えないものをリストに入れてもらうことはできるのか。」</p>
中央図書館長	<p>「年度ごとの予算規模に応じた購入計画を立てている。また、児童書については、要求論より価値論に重きを置くことを心がけているが、リクエストは受けられる。」</p>
成田委員	<p>「クラスで学習するためには、同じ図書を 3～40 冊揃える必要がある</p>

<p>中央図書館長</p> <p>原委員 中央図書館長</p> <p>横田副委員長</p>	<p>が、そうした形で購入することはできるのか。また、ネットワーク会議の委員はどのような方が務められているのか？」</p> <p>「10冊文庫という取組がある。新刊でなければ揃えることは可能。また、ネットワーク事業でもそれは可能。ネットワーク会議は学校司書や図書館員で構成している。」</p> <p>「市川らしい図書館とは、どのようなものか？」</p> <p>「武雄市の実践等、新たな試みが注目を集めているが、市川はこれまでの方針を大幅に変えることなく、さらに充実した図書館を目指すべきとの意見もある。」</p> <p>「市川の図書館は充実しており、これまでも学校教育とは良い形で連携してきた。CD等の音楽関係資料がより充実するとうれしい。」</p>
<p>ハリス委員</p> <p>事務局</p>	<p>事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/17 千葉県社会教育振興大会の報告 <p>「県会長より 28 年度に千葉県で全国大会を開催するという報告があった。本市の古賀前委員長を含む 16 名が県功労賞を受賞した後、多古・匝瑳の事例発表、千葉敬愛短期大学 明石学長の講演があった。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会決議文 ※別紙参照 ・ 2/6 葛南地方生涯学習振興大会について ・ 次回の会議について

平成 26 年 11 月 27 日 (承認)

市川市社会教育委員長 滝沢 直樹



第四次 市川市生涯学習推進計画（案）について

1 第四次生涯学習推進計画策定の趣旨

「市川市基本構想」（昭和61年）に示された「住みよい文化都市づくり」を生涯学習の面から推進していくため、「市川市生涯学習振興指針」が平成8年に策定された。この指針に基づき、関連事業を総合的な施策として体系づけることにより、平成11年度「市川市生涯学習推進計画」、平成17年度「市川市生涯学習推進計画（改訂版）」、平成22年度に「第三次市川市生涯学習推進計画」を5カ年計画として策定、平成26年度は、その最終年度にあたる。

また、本計画は、市川市総合計画 第二次基本計画「I&Iプラン21」（平成23年度）の理念、基本目標、施策の方向を踏まえたものであり、学校教育に関する「学校教育3カ年計画」とともに、市川市教育振興基本計画の部門別計画として位置づけられる。

平成25年6月14日に閣議決定された政府の「第2期教育振興基本計画」が示す現状認識と課題および、現行計画の評価に基づく施策の改善等を踏まえた上で、「自立，協働モデル」としての生涯学習社会の実現に向けた取り組みを具体的に示し、「創造モデル」としての生涯学習社会への基盤づくりを目指すことを意図して、「第四次市川市生涯学習推進計画」を策定することとした。

2 策定作業：これまでの経緯

H25.11.21 ・第2回社会教育委員会議にて「策定方針」を検討

H26.2.6 ・2月定例教育委員会にて「策定方針」を承認

2.13 ・第3回社会教育委員会議にて、定例教育委員会の報告を行うと共に、「e-モニター調査結果」を検討

5.28 ・第1回策定作業部会にて、策定方針に基づく策定作業を説明し、各部署に報告資料作成を依頼

- 7.10 ・第1回社会教育委員会議にて、策定方針に基づく策定作業に関する意見を聴取
- 7.16 ・第2回策定作業部会にて、社会教育委員会議の報告を行い、各部署からの報告内容を検討
- 8.28 ・第3回策定作業部会にて、計画全体を点検
- 11.6 ・11月定例教育委員会にて「第四次生涯学習推進計画（案）」を審議し、社会教育委員会議での意見聴取を依頼

3 策定作業：今後の予定

- 11.20 ・第2回社会教育委員会議にて、「第四次生涯学習推進計画（案）」に関する意見聴取を行う
- 12 ・パブリックコメントを実施
 - 2 ・2月定例教育委員会にて、社会教育委員会議の意見とパブリックコメントの結果を報告
 - 2 ・市長および関係部長に進捗を報告
 - 3 ・3月定例教育委員会にて、「第四次生涯学習推進計画（案）」を承認

4 第四次生涯学習推進計画（案）における主な改善点

- (1) 第3章において、重点課題とそれに対応する6つの方向性を示した。
- (2) 第4章において、89の生涯学習推進施策が、それぞれ6つの方向性とどのように関わっているのかを示した。
- (3) 第3章の4および5において、6つの方向性に関わりの強い生涯学習推進施策とその連携・関連を示した。
- (4) 成果指標の見直しを行い、可能な限り達成度を図れるような目標値の設定を行った。また、事業の性格上設定が難しい場合は、目標値の設定を省略し、事業概要と施策の方向との関連について記載した。

市川市立図書館運営基本計画(素案) 概要版

計画策定の目的

市民への適切な図書館サービスを提供するための基盤として、本市図書館の今後の運営における基本的な考え方や具体的な施策の方向性を示すものです。

計画の成り立ち

本計画は、図書館法第7条の二に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示)で示された基本的運営方針に相当し、前計画である「市川市立図書館中期計画」を踏襲するものです。

計画期間

平成27年度から実施し、社会情勢の変化等に応じ3年ごとに部分的見直しを行います。また、実施計画については、目標値等を定めて評価を実施する事業を設定します。

三つの柱と施策の方向

一つ目の柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

- (1)「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」
- (2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」
- (3)「市内の関連機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

二つ目の柱 子どもの成長をサポートする図書館

- (1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」
- (2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

三つ目の柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

- (1)「市川市の歴史・文化の保存と継承」
- (2)「行政の情報拠点としての役割」

施設と組織の管理と運営

運営計画／組織／図書館の適正な管理／その他、関連施設等との連携と協力

実施計画

平成27年度～平成29年度実施事業計画